

令和元年度機械系同窓会「活躍するOBの報告会」(7月6日開催)の講演内容

## 演 題：『たかが竹とんぼ、されど竹とんぼ』

＝「スーパー竹とんぼ」の飛翔性能に魅せられて＝

講演者： 石田 英雄（校友会愛知県支部長）



### プロフィール

1970年3月 工学院大学機械工学科卒業

1970年4月 トヨタ紡織株式会社入社

(ボデー設計部⇒技術管理部⇒品質保証部)

2008年4月 豊田市「ヤングオールドS.C.」臨時職員

(高齢者の生きがい啓発事業)

竹とんぼがうまく飛ばないなあ、どうしてだろう。

羽根の形（設計）が悪いのか？左右の羽根形状の微妙な違い（製作）が悪いのか？回転させる力（飛ばし方）が弱いのか？はたまた地上からの上昇気流（気象条件）が少ないのか？

竹とんぼ！ 子供の時に作りましたよね。それなりのお年を召している方は。私が小学生時代は“肥後の守”という折りたたみのナイフは必需品で弁当は忘れてもナイフは忘れないで学校へ持って行ったものでした。でないと放課後に皆と遊べない。

そんな幼少時代からいい大人になった2005年に”スーパー竹とんぼ”と出会い、私の残された人生に多大な影響を与えてくれました。

前述したように竹とんぼは大きく4つの要素が揃ったときに良く飛びます。気象条件はどうすることもできませんが、その中でも飛ばし方が半分の要素を占めると謂われています。

従って、掌で回転させる(飛ばす)パワーに見合った竹とんぼを作らなければなりません。ベテランの方の良く飛ぶトンボを真似して作っても、大きさや重量が自分の飛ばすパワーに見合わなければうまく飛びません。

残念ながら私の持ち合わせているエンジンは“レクサス”級ではなく、せいぜい“カローラ”級であるためどんな羽根の設計で、どれくらいの重さで、どのようにピッチ変化をさせるのが良いのか日々奮闘しているわけです。

無い頭で必死に考え、細かな作業に手を使い、広い屋外で飛ばしたら見失わないよう拾いに走って身体を動かしていることが高齢者の生きがい、健康、仲間づくりに役立っているのだと感じています。

竹とんぼに関心のある方は8月末に八王子キャンパスで開催される「第26回わくわくサイエンス祭科学教室」に是非お越しいただき、竹とんぼ作りを体験してみてください。目からうろこ！子ども用の竹とんぼでも侮るなかれ、大人用の作り方（重量配分、ピッチの付け方）をすると見違えるほど飛ぶようになります。体育館でお待ちしています。